

放置森林を整備し見通しのいい環境に変えた事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名 大竹市

取組のきっかけ・経緯

・放置森林整備の募集に対して応募があった。

今後の展開

・周囲には依然としてうっそうとした森林が残っているため、市広報誌等を活用し、事業を周知していく。

取組の内容

- ・事業主体：大竹市
- ・実施場所：廿日市市大野字横撫外2地番
- ・業務委託先：佐伯森林組合
- ・業務量：2.0ha
- ・業務金額：3,289,000円
- ・業務期間：令和3年2月1日～3月31日

【整備前】



【整備後】



取組後の感想

【良かった点】

・住宅付近の森林までしっかり間伐されたことで、地域住民の方の森に対する意識が改善された。

【整備前】



【整備後】

